



倉淵・榛名・吉井の山間部を重点的に点検。ドローンも活用しました

今年は山間部を重点的に点検しました。目視に加え、遠隔操作により上空を飛行して動画や写真を撮影できるドローンの特性を生かして、上空から河川や傾斜地、水門などの点検を実施。一部の土砂崩れの発生により対応が必要な箇所の全体像などが確認できました。今後、土地の所有者に対策を講じるよう要望していきます。



## 倉淵・榛名・吉井地域の山間部の対策を強化

# 危険箇所総点検を実施しました

市は、台風や集中豪雨などによる災害に備えるため、平成26年から毎年実施している危険箇所総点検を今年も行いました。今回号では、点検の結果についてお知らせします。問い合わせは、防災安全課（☎027-321-1352）へ。



のり面が崩落する恐れがあるため、早急な補修工事が必要なことが判明



地下道点検の結果、舗装にひび割れなどの劣化を発見。舗装の打ち換えを行った



堆積した土砂の撤去や雑草の除去など、改善を要望

## 土砂災害警戒区域の対象地区の区長さんに聞きました

榛名山町区長 唐澤 宏さん



この地区は住宅地というだけでなく、観光地でもあります。今年、社家町では防災訓練を4年ぶりに行いました。小学生も参加し、子どもたちに防災について興味を持ってもらう良い機会になったと思います。市と協力しながら、観光地としても安心・安全な環境を整えられるので、大変ありがたいですね。

市は、大雨による水害や土砂災害、地震災害への備えとして、平成26年から毎年、市内の危険箇所を総点検しています。

今年は、倉淵・榛名・吉井地域の山間部における土砂災害の防止に重点を置いて実施しました。5月17日、7月21日に、市の職員延べ1708人を動員し、市内の危険箇所など1361箇所を点検。倉淵・榛名・吉井地域を中心に、土砂崩れの痕跡や地面のひび割れ、斜面の異常などについて点検しました。また、151河川や水路に加え、道路の側溝や用排水路、地下道などの危険箇所も点検。過去に浸水被害のあった地域では、区長への聞き取り調査も実施しました。

点検の結果、集中豪雨などの発生時に土砂災害の危険性が高い場所、土砂や立木などの障害物がある河川や水路など、143箇所に対処が必要などが判明。市が管理している箇所については、今後速やかに対策を実施します。国や県などが管理している箇所については、改修工事や障害物の撤去など改善の要望を行っています。